

施工状況等報告書

2020 年 4 月 30 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様
小諸市長 小泉 俊博 様
御代田町長 小園 拓志 様
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内
名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

記

| | |
|-------------|--|
| 対象事業の名称 | 新クリーンセンター建設事業 |
| 報告対象期間 | 2020 年 1 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで |
| 環境の保全のための措置 | 詳細は別紙添付資料のとおり |
| 対象事業の実施状況 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】 事務所棟の外壁塗装、内装、設備工事、工場棟の躯体、外壁、外壁塗装、設備工事、プラント機械の設置工事を行っています。 |

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

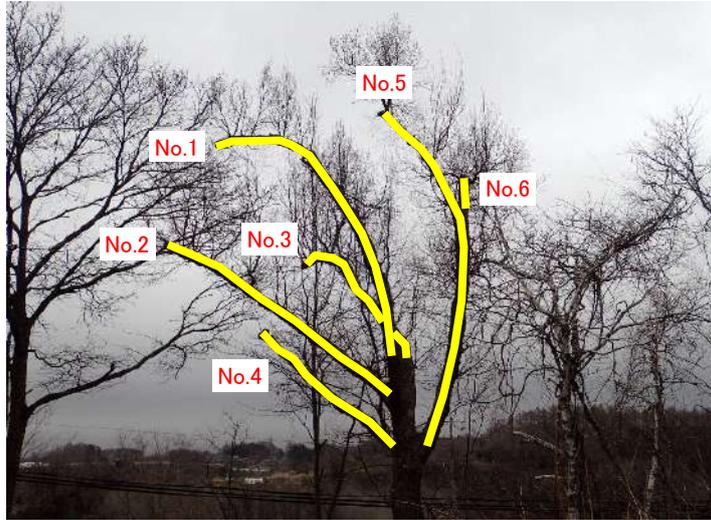
施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

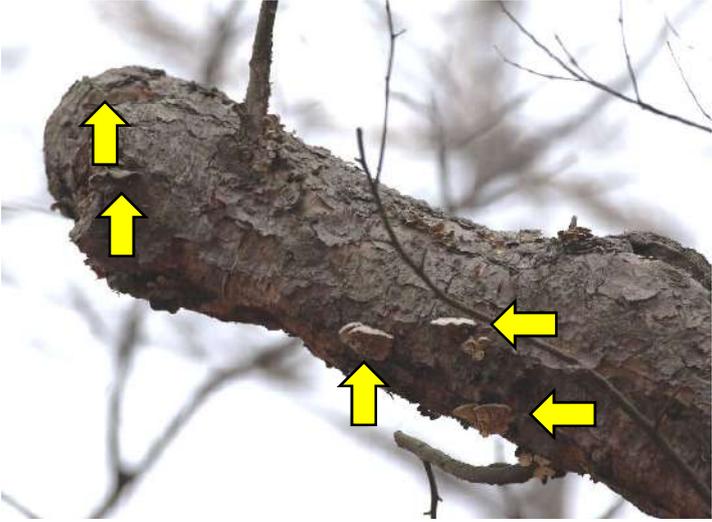
期間: 2020年1月1日～2020年3月31日

| 環境影響評価項目 | 保全対象種 | 措置項目 | 措置内容 | 添付書類 |
|----------|-----------|--------------|---|-----------------|
| 植 物 | ヤエガワカンバ | 成木の移植 | 3月10日に平成27年4月18日移植個体の生育確認及び管理（任意確認） 展葉は確認されないが雄花と果穂（種子）あり。 枯枝No. 4、No. 5、No. 6の枝のキノコに変化は見られない。 | 写真ヤエ-1, 2, 3, 4 |
| | | 種子の播種、保存及び育苗 | 3月10日に平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理（任意確認） 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植（植樹）した幼木3個体と防獣ネットに異常は見られない。 | 写真ヤエ-5, 6, 7 |
| | オニヒョウタンボク | （挿し穂採取及び挿し木） | 3月10日に挿し木用の挿し穂採取 挿し木用の挿し穂を30本を採取した。また、挿し木の用土として移植地の土壌を採取した。 | 写真オニ-1, 2 |
| | | | 3月11日に挿し木 鹿沼土、赤玉土、移植地土壌別に10本ずつの挿し木を行った。 | 写真オニ-3 |
| 水 象 | 地下水位 | 地下水位モニタリング | 1月30日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：788.87m(昨年度同月：789.75m) ・調査地点No. 2：743.60m(昨年度同月：743.37m) ・調査地点No. 3：724.45m(昨年度同月：724.55m) | 写真チカ-1 |
| | | | 2月28日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と概ね同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：788.94m(昨年度同月：786.87m) ・調査地点No. 2：743.39m(昨年度同月：743.33m) ・調査地点No. 3：724.60m(昨年度同月：724.58m) | 写真チカ-2 |
| | | | 3月18日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と概ね同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：788.91m(昨年度同月：786.55m) ・調査地点No. 2：743.40m(昨年度同月：743.39m) ・調査地点No. 3：724.73m(昨年度同月：724.64m) | 写真チカ-3 |

－ 公表・公開情報 －

| | |
|----|---|
| 発行 | 環境保全措置・事後調査実施状況（概要版）1月号 |
| 内容 | 1 ヤエガワカンバ成木・現場移植幼木の生育調査結果について 2 オニヒョウタンボク（成木）の生育調査結果について 3 ミズオオバコの生育調査結果について 4 ナガミノツルキケマン・キクタニギク・ヌマガヤツリの生育調査結果について |
| 方法 | ホームページに掲載 |

| | | |
|---|---|---------|
|  | 保 全 対象種 | ヤエガワカンバ |
| | 写 真 番 号 | ヤエ-1 |
| | 撮影日 | R2.3.10 |
| | 平成27年4月18日移植個体の 生育確認及び管理(任意確認) 移植木の全景 展葉は確認されないが雄花と 果穂(種子)あり。 | |
|  | 保 全 対象種 | ヤエガワカンバ |
| | 写 真 番 号 | ヤエ-2 |
| | 撮影日 | R2.3.10 |
| | 平成27年4月18日移植個体の 生育確認及び管理(任意確認) 雄花と果穂(種子)の様子。 | |
|  | 保 全 対象種 | ヤエガワカンバ |
| | 写 真 番 号 | ヤエ-3 |
| | 撮影日 | R2.3.10 |
| | 平成27年4月18日移植個体の 生育確認及び管理(任意確認) ヤエガワカンバの枝番号 | |

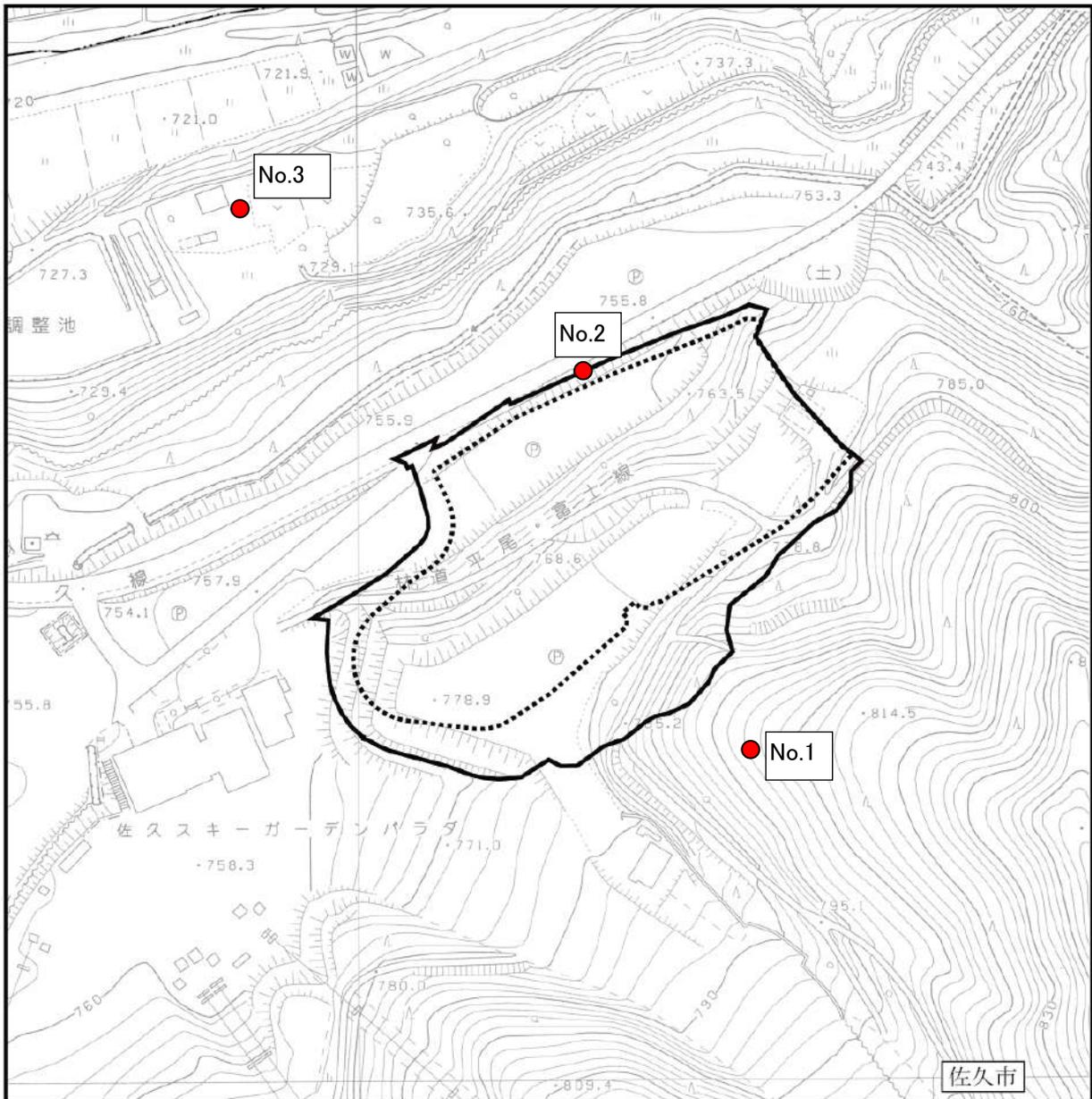
| | | |
|---|---|---------|
|  | 保 全 対象種 | ヤエガワカンバ |
| | 写 真 番 号 | ヤエ-4 |
| | 撮影日 | R2.3.10 |
| | 平成27年4月18日移植個体の 生育確認及び管理(任意確認) 発生したキノコに変化無し。 (写真はNo.4の枝の西側) | |
|  | 保 全 対象種 | ヤエガワカンバ |
| | 写 真 番 号 | ヤエ-5 |
| | 撮影日 | R2.3.10 |
| | 平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体) (任意確認) 個体No.③ 幼木や防獣ネットに異常は見 られない。 | |
|  | 保 全 対象種 | ヤエガワカンバ |
| | 写 真 番 号 | ヤエ-6 |
| | 撮影日 | R2.3.10 |
| | 平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体) (任意確認) 個体No.⑤ 幼木や防獣ネットに異常は見 られない。 | |



| | |
|---|---------|
| 保 全 対象種 | ヤエガワカンバ |
| 写 真 番 号 | ヤエ-7 |
| 撮影日 | R2.3.10 |
| 平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹个体) (任意確認) | |
| 個体No.⑦ | |
| 幼木や防獣ネットに異常は見 られない。 | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------------|-----------|------------|------|-----|---------|------------|--|---------------------------|--|---|--|
|  | <table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>オニ-1</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>R2.3.10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">挿し木用の挿し穂採取</td> </tr> <tr> <td colspan="2">挿し穂採取作業 30本の挿し穂を採取した。</td> </tr> </table> | 保 全 対象種 | オニヒョウタンボク | 写 真 番 号 | オニ-1 | 撮影日 | R2.3.10 | 挿し木用の挿し穂採取 | | 挿し穂採取作業 30本の挿し穂を採取した。 | | | |
| 保 全 対象種 | オニヒョウタンボク | | | | | | | | | | | | |
| 写 真 番 号 | オニ-1 | | | | | | | | | | | | |
| 撮影日 | R2.3.10 | | | | | | | | | | | | |
| 挿し木用の挿し穂採取 | | | | | | | | | | | | | |
| 挿し穂採取作業 30本の挿し穂を採取した。 | | | | | | | | | | | | | |
|  | <table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>オニ-2</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>R2.3.10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">挿し木用の挿し穂採取</td> </tr> <tr> <td colspan="2">挿し木の用土として移植地の 土壌を採取した。</td> </tr> </table> | 保 全 対象種 | オニヒョウタンボク | 写 真 番 号 | オニ-2 | 撮影日 | R2.3.10 | 挿し木用の挿し穂採取 | | 挿し木の用土として移植地の 土壌を採取した。 | | | |
| 保 全 対象種 | オニヒョウタンボク | | | | | | | | | | | | |
| 写 真 番 号 | オニ-2 | | | | | | | | | | | | |
| 撮影日 | R2.3.10 | | | | | | | | | | | | |
| 挿し木用の挿し穂採取 | | | | | | | | | | | | | |
| 挿し木の用土として移植地の 土壌を採取した。 | | | | | | | | | | | | | |
|  | <table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>オニ-3</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>R2.3.11</td> </tr> <tr> <td colspan="2">挿し木</td> </tr> <tr> <td colspan="2">挿し木完了</td> </tr> <tr> <td colspan="2">左から 鹿沼土、赤玉土、移植地土壌 それぞれの用土に10本ずつ 挿し木した。</td> </tr> </table> | 保 全 対象種 | オニヒョウタンボク | 写 真 番 号 | オニ-3 | 撮影日 | R2.3.11 | 挿し木 | | 挿し木完了 | | 左から 鹿沼土、赤玉土、移植地土壌 それぞれの用土に10本ずつ 挿し木した。 | |
| 保 全 対象種 | オニヒョウタンボク | | | | | | | | | | | | |
| 写 真 番 号 | オニ-3 | | | | | | | | | | | | |
| 撮影日 | R2.3.11 | | | | | | | | | | | | |
| 挿し木 | | | | | | | | | | | | | |
| 挿し木完了 | | | | | | | | | | | | | |
| 左から 鹿沼土、赤玉土、移植地土壌 それぞれの用土に10本ずつ 挿し木した。 | | | | | | | | | | | | | |

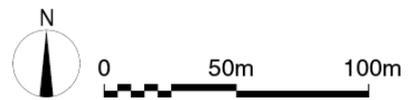
| | | |
|---|--------------------------------|---------|
|  | 保 全 対象種 | 地下水位 |
| | 写 真 番 号 | チ力-1 |
| | 撮影日 | R2.1.30 |
| | 地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.2) | |
|  | 保 全 対象種 | 地下水位 |
| | 写 真 番 号 | チ力-2 |
| | 撮影日 | R2.2.28 |
| | 地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.3) | |
|  | 保 全 対象種 | 地下水位 |
| | 写 真 番 号 | チ力-3 |
| | 撮影日 | R2.3.18 |
| | 地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.1) | |



凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 計画施設用地
- : 地下水位調査地点

----- : 市町界



地下水位調査地点

平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成31年4月～令和2年3月】

【措置項目】成木の移植

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年2月 | 令和2年3月 |
|--|--|--------------------------------------|--|---|--|---|--|--------------|--|-----------|
| 平成27年4月18日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。 | | | | | | | | | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) | |
| | 樹高12.2m(昨年12.0m)、胸高直径44.0cm(昨年41.0cm)、枝張り5.5m(昨年5.5m)であり、樹高と胸高直径が昨年より増えている。なお、発生しているキノコに生長などの変化は見られない。 | 展葉したが一部の枝が枯れている。キノコにはまだ目立った生長は見られない。 | 十分に展葉したが一部の枝が枯れ、葉の量が少ない。キノコにはまだ目立った生長は見られない。 | 十分に展葉したが一部の枝が枯れ、葉の量が少ない。キノコにはやや生長した様子が見られる。 | 十分に展葉している。一部の枝の枯れ、葉の量が少ない状況は前月と同様。キノコには一部にやや生長した様子が見られる。 | 十分に展葉している。一部の枝の枯れ、葉の量が少ない状況は前月と同様。一部に新たに発生したキノコが見られる。 | 一番下の枝が枯れ、葉の量が少ない。他の枝は十分に展葉しているが、一部の枝に枯れた小枝が確認された。黄葉が始まる。 | 黄葉と落葉が進んでいる。 | | |
| | 撮影日:4月22日 | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月7日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | | 撮影日:3月10日 |

【措置項目】幼木の育苗

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年2月 | 令和2年3月 |
|---|--|--------------------------------------|---|---|---|--|--|--|--|-----------|
| 平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。 | | | | | | | | | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) | |
| | 個体No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 出葉はまだ見られない。 | 個体No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 展葉した。 | 個体No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 十分に展葉した。 | 個体No.③ 樹高78.0cm、根元直径12mm 十分に展葉し、樹高も伸び、根元直径も太くなっている。 | 個体No.③ 樹高101.0cm、根元直径12mm 十分に展葉し、樹高もさらに伸びている。枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。 | 個体No.③ 樹高110.0cm、根元直径15mm 樹高もさらに伸び、根元直径も太くなっている。枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。 | 個体No.③ 樹高112.0cm、根元直径16mm 樹高もさらに伸び、根元直径も太くなっている。枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。 | 個体No.③ 樹高116.0cm、根元直径16mm 樹高がさらに伸びた。ほぼ落葉したが、冬芽を形成している。 | | |
| | 撮影日:4月22日 | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月7日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | | 撮影日:3月10日 |

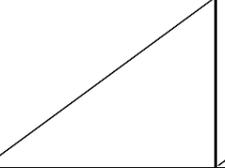
【措置項目】幼木の育苗

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年2月 | 令和2年3月 |
|---|------------------------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|-----------|
| 平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。 | | | | | | | | | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) | |
| | 個体No.⑤ 樹高42cm、根元直径9mm 出葉始まる。 | 個体No.⑤ 樹高42cm、根元直径10mm 展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 | 個体No.⑤ 樹高58cm、根元直径10mm 十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 | 個体No.⑤ 樹高90.0cm、根元直径12mm 十分に展葉し、樹高も伸び、根元直径も太くなっている。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.⑤ 樹高135.0cm、根元直径15mm。樹高もさらに伸び、根元直径も太くなっている。枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.⑤ 樹高164.0cm、根元直径17mm。樹高もネット高を超えた。根元直径も太くなり、枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.⑤ 樹高178.0cm、根元直径21mm。樹高もネット高を超えた。根元直径も太くなり、枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.⑤ 樹高178.0cm、根元直径21mm 樹高と根元直径に変化は無い。落葉が始まり、冬芽を形成。シラカンバの可能性が高い。 | | |
| | 撮影日:4月22日 | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月7日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | | 撮影日:3月10日 |

平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成31年4月～令和2年3月】

【措置項目】幼木の育苗

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年2月 | 令和2年3月 |
|---|---|---|--|---|---|---|---|---|--|---|
| 平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。 |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
| | 個体No.⑦ 樹高54cm、株立ち(根元直径14mm、11mm、7mm)出葉はまだ見られない。 | 個体No.⑦ 樹高56cm、株立ち(根元直径14mm、11mm、7mm)展葉した。 | 個体No.⑦ 樹高65cm、株立ち(根元直径14mm、11mm、7mm)十分に展葉した。 | 個体No.⑦ 樹高101.0cm、株立ち(根元直径17mm、15mm、10mm)十分に展葉し、樹高も伸び、根元直径も太くなっている。枝張りもネットからはみ出す勢い。 | 個体No.⑦ 樹高124.0cm、株立ち(根元直径19mm、17mm、12mm)樹高もさらに伸び、根元直径も太くなっている。枝張りもネットからはみ出す勢い。 | 個体No.⑦ 樹高138.0cm、株立ち(根元直径20mm、18mm、13mm)樹高もさらに伸び、根元直径も太くなっている。枝張りも広がり、ネットからはみ出す勢い。 | 個体No.⑦ 樹高135.0cm、株立ち(根元直径20mm、18mm、13mm)樹高と根元直径に変化は無いが、枝張りはネットからはみ出す勢い。 | 個体No.⑦ 樹高135.0cm、株立ち(根元直径20mm、18mm、13mm)樹高と根元直径に変化は無い。ほぼ落葉し、冬芽を形成している。 | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) | |
| | 撮影日:4月22日 | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月7日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | | 撮影日:3月10日 |

【措置項目】幼木の育苗

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 | |
|-----------------------------------|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 平成27年4月23日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。 |  |  |  |  |  |  |  |  | | |
| | 個体No.④ 樹高26cm、根元直径7mm出葉はまだ見られない。 | 個体No.④(左側) 樹高26.5cm、根元直径7mm展葉した。 | 個体No.④(左側) 樹高26.5cm、根元直径8mm十分に展葉した。 | 個体No.④(左側) 樹高27.0cm、根元直径8mm十分に展葉した。 | 個体No.④ 樹高30.0cm、根元直径8mm樹高もさらに伸びている。 | 個体No.④ 樹高30.0cm、根元直径10mm根元直径も太くなっている。 | 個体No.④ 樹高30.0cm、根元直径11mm樹高は変わらないが根元直径が太くなっている。黄葉が始まり、冬芽を形成。 | 個体No.④ 樹高30.0cm、根元直径11mm樹高と根元直径に変化は無い。落葉し、冬芽あり。 | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) | |
| | 撮影日:4月22日 | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月11日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | | |

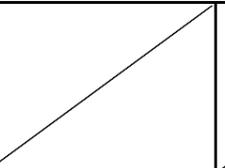
【措置項目】幼木の育苗

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 | |
|-----------------------------------|---|---|--|---|---|---|---|---|--|--|
| 平成28年4月18日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。 |  |  |  |  |  |  |  |  | | |
| | 個体No.① 樹高33cm、根元直径8mm出葉始まる。 | 個体No.①(中央) 樹高34cm、根元直径8mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 | 個体No.①(中央) 樹高36cm、根元直径10mm十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 | 個体No.①(中央) 樹高41.0cm、根元直径11mm十分に展葉し、樹高も伸び、根元直径も太くなった。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.①(中央) 樹高44.0cm、根元直径12mm樹高もさらに伸び、根元直径も太くなった。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.①(中央) 樹高44.0cm、根元直径12mm樹高、根元直径に変化はない。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.① 樹高44.0cm、根元直径12mm樹高、根元直径に変化はない。黄葉が始まり、冬芽を形成。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.① 樹高42.0cm、根元直径12mm。樹高は落葉で2cm低くなったが根元直径に変化なし。ほぼ落葉し、冬芽あり。シラカンバの可能性が高い。 | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) | |
| | 撮影日:4月22日 | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月11日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | | |

平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成31年4月～令和1年11月】

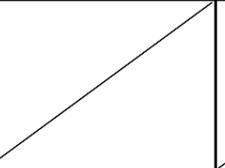
【措置項目】幼木の育苗

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 | | | | |
|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|
| 平成29年4月21日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) | | | |
| 個体No.① 樹高28.5cm、根元直径7mm 出葉始まる。 | 個体No.① 樹高29cm、根元直径7mm 展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 | 個体No.① 樹高31cm、根元直径7mm 十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 | 個体No.① 樹高33.5cm、根元直径7mm 十分に展葉し、樹高もやや伸びた。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.① 樹高37.0cm、根元直径8mm 樹高もさらに伸び、根元直径も太くなった。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.① 樹高38.0cm、根元直径10mm 樹高もさらに伸び、根元直径も太くなった。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.① 樹高38.0cm、根元直径11mm 根元直径が太くなった。黄葉が始まり、冬芽を形成。シラカンバの可能性が高い。 | 個体No.① 樹高38.0cm、根元直径12mm 根元直径が太くなった。ほぼ落葉し、冬芽あり。シラカンバの可能性が高い。 | | | | | | |
| 撮影日:4月22日 | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月11日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | | | | | | |

【措置項目】幼木の育苗

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|--|--|--------|--------|--------|--------|---------|---------|----------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 平成30年4月10日に床蒔きし、以降、生育状況のモニタリングを実施。 |  | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 床蒔き 発芽個体(実生)消失 | 床蒔き 実生が消失したため生育確認を中止。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 撮影日:4月22日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

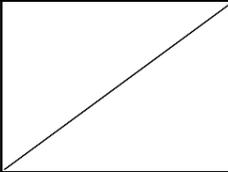
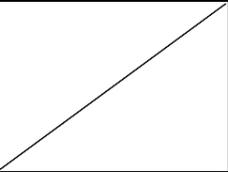
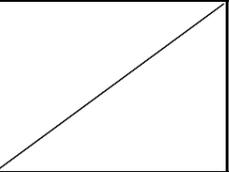
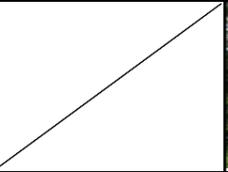
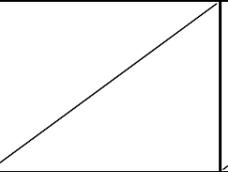
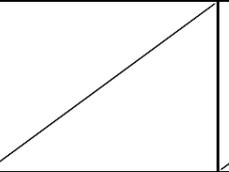
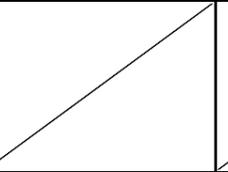
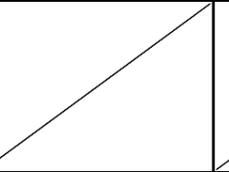
【措置項目】幼木の育苗

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 | | | | |
|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|
| 平成30年4月10日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) | | | |
| プランター蒔き 出葉はまだ見られない。この後、プランターからポットへ植え替えを行う(1ポットに幼木5本ずつ、計30ポット幼木150本)。 | 樹高2.5cm～7.5cm、根元直径1mm 展葉した。 | 樹高5.5cm～11.5cm 順調に生育している。 | 樹高8.5cm～16.5cm 順調に生育し、樹高もやや伸びた。 | 樹高10.0cm～23.5cm 順調に生育し、樹高も伸びている。 | 樹高12.0cm～26.0cm 順調に生育し、樹高も伸びている。 | 樹高12.0cm～27.0cm 順調に生長し、樹高も伸びている。黄葉が始まり、冬芽を形成。 | 樹高14.0cm～27.0cm 樹高が伸び、落葉。冬芽あり。 | | | | | | |
| 撮影日:4月22日 | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月11日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | | | | | | |

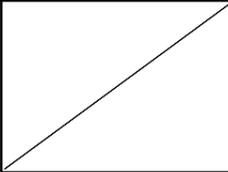
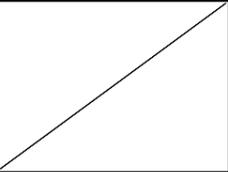
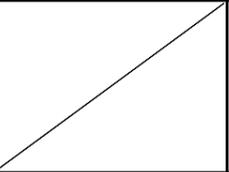
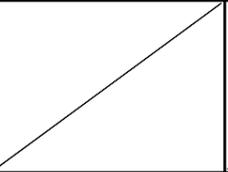
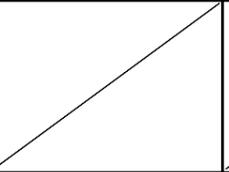
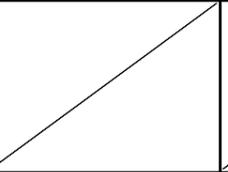
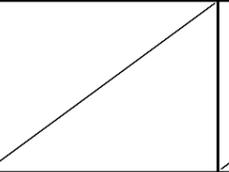
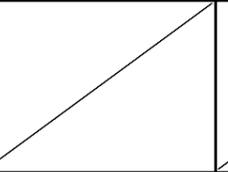
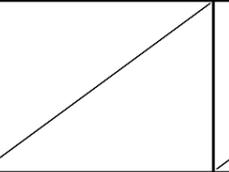
平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和1年5月～令和1年11月】

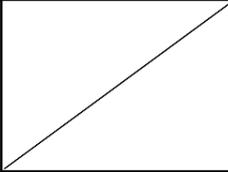
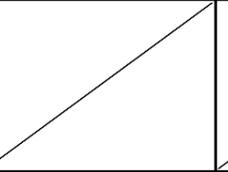
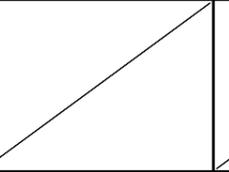
【措置項目】成木の移植 ※成木の生育状況が順調であることからモニタリングは令和1年5月と9月に実施。

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 | |
|--|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成27年4月20日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| | | 全ての個体で順調に展葉して開花している。一部の個体に結実も見られる。 | | | | 全ての個体で黄葉が始まる。一部の個体の葉にカビによる白斑や虫の食痕が認められる。また、フジの蔓が巻き付いている個体があったため除去した。 | | | | |
| | | 撮影日:5月16日 | | | | 撮影日:9月3日 | | | | |

【措置項目】個体の生育確認及び管理

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 | |
|---|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 平成27年7月15日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| | | 個体No.① 樹高4cm、根元直径4mm 枯死した。 | | | | | | | | |
| | | 撮影日:5月16日 | | | | | | | | |

【措置項目】個体の生育確認及び管理

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 | |
|--|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成29年6月29日に新たに種子20個をプランターに播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| | | 個体No.③ 樹高5.5cm、根元直径2mm 展葉した。 | 個体No.③ 樹高6cm、根元直径2mm | 個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 根元直径がやや太くなる。 | 個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 樹高、根元直径に変化はない。 | 個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 樹高、根元直径に変化はない。 | 個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 樹高、根元直径に変化はない。 | 個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 樹高、根元直径に変化はない。 | | |
| | | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月11日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | | |

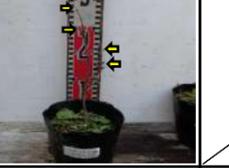
平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和1年5月～令和1年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 |
|---|---------|---|--------|--------|--------|--------|---------|---------|----------------|
| 平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。 | |  | | | | | | | |
| | | 個体No.⑪ 枯死した。 | | | | | | | |
| | | 撮影日:5月16日 | | | | | | | |

【措置項目】個体の生育確認及び管理

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 |
|---|---------|--|---|--|--|--|--|--|--|
| 平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。 | |  |  |  |  |  |  |  | |
| | | 個体No.⑰ 樹高21cm、根元直径6mm 5月9日に開花して展葉した。 | 個体No.⑰ 樹高21.5cm、根元直径6mm | 個体No.⑰ 樹高23.0cm、根元直径6mm | 個体No.⑰ 樹高23.0cm、根元直径6mm 樹高、根元直径に変化はない。葉の一部が枯れている。 | 個体No.⑰ 樹高23.0cm、根元直径6mm 樹高、根元直径に変化はない。葉の一部が枯れている。 | 個体No.⑰ 樹高20.5cm、根元直径6mm 落葉し、冬芽を形成している。 | 個体No.⑰ 樹高20.5cm、根元直径6mm 樹高、根元直径に変化はない。落葉し、冬芽あり(矢印部分)。 | |
| | | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月11日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) |

【措置項目】個体の生育確認及び管理

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 |
|---|---------|---|--|---|---|---|---|---|--|
| 平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) | |  |  |  |  |  |  |  | |
| | | 18本中の16本で展葉あり。 | 18本中の6本で葉あり。 | 18本中の4本で葉あり。 | 18本中の4本で葉あり。 | 18本中の4本で葉あり。 | 18本中の3本が生存。うち2本に葉があり、2本が冬芽を形成している。 | 18本中、生存していた3本は落葉。うち2本には冬芽があるが、1本は冬芽が無く枯死した可能性あり(中央の矢印)。 | |
| | | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月11日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | (冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。) |

平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和1年5月～令和2年3月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | 令和1年12月～令和2年3月 | | |
|---|---------|---|--|---|---|---|---|---|----------------|--|--|
| 平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 挿し木から発根後まで日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) | |  |  |  |  |  |  |  | | | |
| | | 18本中の11本で展葉あり。 | 18本中の1本で葉あり。 | 18本全てで葉が無くなる。 | 18本全てで葉が無くなる。 | 18本全てで葉が無くなる。 | 18本全てで冬芽の形成も見られず枯死したと思われる。日照条件の違いにより活着しなかったことが考えられる。 | 18本全てで冬芽の形成も見られず枯死したと思われる。日照条件の違いにより活着しなかったことが考えられる。 | | | |
| | | 撮影日:5月16日 | 撮影日:6月11日 | 撮影日:7月12日 | 撮影日:8月16日 | 撮影日:9月3日 | 撮影日:10月7日 | 撮影日:11月5日 | | | |

【措置項目】個体の生育確認及び管理

| 事後調査の内容 | 平成31年4月 | 令和1年5月 | 令和1年6月 | 令和1年7月 | 令和1年8月 | 令和1年9月 | 令和1年10月 | 令和1年11月 | | | 令和2年3月 |
|---|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|--|--|--|
| 【事後調査】 令和2年3月10日に30本の挿し穂を採取して3月11日に挿し木(発根促進剤使用)。 | | | | | | | | | | |  |
| | | | | | | | | | | | 挿し木の生存率を上げるため、用土、鉢、日当たり、それぞれの条件を変えて挿し穂を行った。挿し穂数は30本。 |
| | | | | | | | | | | | 撮影日:3月11日 |

◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)

| 区分 | 平成26年度 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | 平成31年度(令和元年) | | | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------------|---|-------------------|----|----------------|---|---|------------|---|----|------------|---|---|--------------|---|---|-----------------|---|----|-----------------|----|---|-----------------|---|---|-----------------|---|---|-----------------|---|----|-----------------|----|---|-----------------|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|
| | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 2 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 |
| 環境影響評価 | ★ 予測評価、準備書準備 | | ★ 評価書準備 | | ★ 施工状況等報告書 | | | ★ 事後調査報告書 | | | ★ 事後調査報告書 | | | ★ 事後調査報告書 | | | ★ 事後調査報告書 | | | ★ 事後調査報告書 | | | ★ 事後調査報告書 | | | ★ 事後調査報告書 | | | ★ 事後調査報告書 | | | ★ 事後調査報告書 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 都市計画決定 | ★ 準備書公告・縦覧 | | ★ 準備書縦覧 | | ★ 都市計画決定手続 | | | ★ 都市計画決定手続 | | | ★ 都市計画決定手続 | | | ★ 都市計画決定手続 | | | ★ 都市計画決定手続 | | | ★ 都市計画決定手続 | | | ★ 都市計画決定手続 | | | ★ 都市計画決定手続 | | | ★ 都市計画決定手続 | | | ★ 都市計画決定手続 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設用地造成 | ★ 地質調査 | | ★ 造成工事費積算・入札準備・契約 | | ★ 入札公告 | | | ★ 事業者決定 | | | ★ 施設用地造成工事 | | | ★ 施設用地造成工事 | | | ★ 施設用地造成工事 | | | ★ 施設用地造成工事 | | | ★ 施設用地造成工事 | | | ★ 施設用地造成工事 | | | ★ 施設用地造成工事 | | | ★ 施設用地造成工事 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設本体建設 | ★ 事業方式検討調査 | | ★ 事業方式(DBO)決定 | | ★ 施設建設・運営事業者選定 | | | ★ 入札公告 | | | ★ 事業者決定 | | | ★ 工事着手 | | | ★ 実施設計・施設本体建設工事 | | | ★ 実施設計・施設本体建設工事 | | | ★ 実施設計・施設本体建設工事 | | | ★ 実施設計・施設本体建設工事 | | | ★ 実施設計・施設本体建設工事 | | | ★ 実施設計・施設本体建設工事 | | | ★ 実施設計・施設本体建設工事 | | | | | | | | | | | | |

2. 対象事業の実施状況一覧

| 年度 回数 報告対象期 | 平成27年度 | | | | 平成28年度 | | | | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | 平成31年度(令和元年) | | | | 令和2年度 | | | |
|-------------------|--|--|--|--|--|---|--|--|---|---|---|--|--|--|--|--|--|---|---|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| | 第1回報告 4月～6月 | 第2回報告 7月～9月 | 第3回報告 10月～12月 | 第4回報告 1月～3月 | 第5回報告 4月～6月 | 第6回報告 7月～9月 | 第7回報告 10月～12月 | 第8回報告 1月～3月 | 第9回報告 4月～6月 | 第10回報告 7月～9月 | 第11回報告 10月～12月 | 第12回報告 1月～3月 | 第13回報告 4月～6月 | 第14回報告 7月～9月 | 第15回報告 10月～12月 | 第16回報告 1月～3月 | 第17回報告 4月～6月 | 第18回報告 7月～9月 | 第19回報告 10月～12月 | 第20回報告 1月～3月 | 第21回報告 4月～6月 | 第22回報告 7月～9月 | 第23回報告 10月～12月 | 第24回報告 1月～3月 |
| 実施状況 | 現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。 | 現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。 | 現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】造成工事費の積算を行い、精査を実施している。 | 現在、造成工事等については、未着手である。 【敷地造成工事】平成28年3月14日付で入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部から了承を得られた。 【施設本体建設工事】平成28年3月14日付で入札公告、参加表明締切を同4月28日に予定している。 | 平成28年6月6日、敷地造成工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。 【敷地造成工事】6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。 【施設本体建設工事】平成28年4月28日付で入札参加表明を締切し、同6月27日付で提案書の提出を受付けた。 | 建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】敷地の掘削を開始した。管渠工事が完了した。 【施設本体建設工事】平成28年8月9日に開札及び総合評価を実施した。同9月1日、落札者決定について公表した。 | 建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】掘削が続いている。 【施設本体建設工事】平成28年10月25日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。 | 建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良の準備を進め、開始した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 | 建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良を終え、擁壁本体の施工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 | 建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の一部が、最上段まで積み上がった。ブロック積工及び法面工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 | 建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁が完成し、敷地造成工事は、わずかな排水路工事を残すのみとなった。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 | 建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】平成29年12月8日に行った建築確認の申請について、平成30年1月31日に手続きが完了した。公害防止関係、廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係の届出等、監督官公庁への手続きが完了した。平成30年3月27日より山留工事に着手した。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】5月より杭工事に着手した。5月末よりごみピット掘削工事に着手した。6月末より工場棟(一部)基礎根切掘削工事に着手した。 【法面保護工事】敷地法面の植生工事に着手した。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】杭工事、山留工事、ごみピット掘削工事が完了した。工場棟一階の躯体工事に着手した。 【法面保護工事】9月末に法面保護工事が完了した。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】プラント架構の建て方工事に着手した。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟基礎工事に着手した。事務所棟の基礎工事、工場棟の建築工事、プラント機械の設置工事を行っています。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の鉄骨工事、工場棟の建築工事、プラント機械の設置工事を行っています。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の屋根、外壁工事、工場棟の躯体、外壁、設備工事、プラント機械の設置工事を行っています。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の外壁塗装、内装、設備工事、工場棟の躯体、外壁、外壁塗装、設備工事、プラント機械の設置工事を行っています。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 | 建設地では、施設本体建設工事が行われている。 |

施工状況(1月～3月)

| 実施月 | 実施状況 | 写真 |
|-----|--|--|
| 1月 | <p>【工場棟工事】 B工区は、ごみピットに溜めたごみを攪拌・焼却炉に投入するごみクレーンの設置を行いました。また、各階の居室の建具・内装工事、給排水や空調、電気などの設備工事を行っています。 C、D、E工区では外壁の塗装工事、設備工事、プラント機械の組立工事、保温工事、配管工事、電気計装工事など継続して行っています。</p> <p>【事務所棟工事】 建具工事、内装工事、設備工事などを継続して進めています。</p> |  |
| 2月 | <p>【工場棟工事】 B工区は、屋根工事を開始し、屋根鉄骨の組立を行っています。また、各階の居室の建具・内装工事、給排水や空調、電気などの設備工事を継続して進めています。 C、D、E工区では継続して外壁の塗装工事、設備工事、プラント機械の組立工事、配管工事、電気計装工事、保温工事などを行っています。</p> <p>【事務所棟工事】 建具工事、内装工事、設備工事などを継続して進めています。</p> |  |
| 3月 | <p>【工場棟工事】 A工区は、鉄骨工事が終了し、2階床工事、屋根工事を進めています。 B工区は、屋根工事が概ね終了し、各階居室の内装工事、給排水や空調、電気などの設備工事を継続して行っています。 C、D、E工区では外壁の塗装工事が概ね終了しました。また、設備工事、プラント機械の組立工事、配管工事、電気計装工事、保温工事などを継続して行っています。</p> <p>【事務所棟工事】 外壁の塗装工事が終了し、建具工事、内装工事、設備工事などを継続して進めています。</p> |  |

◆施設建設工事中の施工業者による環境保全措置実施状況

調査年月日：2020年1月1日～3月31日

| | 調査対象事項 | 関連項目 | 環境保全措置の内容 | 実施状況 | | | 添付書類 |
|-----------|------------------------------------|-----------------------------------|--|------|----|----|---------------------|
| | | | | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 工事関係車両の走行 | 1 走行時間の分散 | 大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場 | 工事関係車両の走行が集中しないよう走行の時期・時間の分散に努める。 特に朝の通学時間帯は極力避けるように配慮する。 | ○ | ○ | ○ | 写真1 参考資料1(非公開) |
| | 2 交通規制等の遵守 | 大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場 | 工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制及び指定走行ルート、標示規制等を遵守するよう指導する。 | ○ | ○ | ○ | 写真1 参考資料1(非公開) |
| | 3 アイドリングストップ・エコドライブの励行 | 大気質 | 工事関係車両のアイドリングストップ・エコドライブを徹底する。 | ○ | ○ | ○ | 写真1 |
| | 4 土砂運搬車両等のタイヤ洗浄 | 大気質 | 建設地から退出する工事関係車両等の洗車を適宜実施する。 | - | - | - | - |
| | 5 工事用車両出入り口の路面洗浄等 | 大気質 | 建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。 | ○ | ○ | ○ | 写真2 |
| | 6 土砂搬出車両荷台のシート掛け | 大気質 | 土砂を搬出入する場合の車両荷台へのシートの敷設を行う。 | - | - | - | - |
| | 7 交通整理員の配置 | 触れ合い活動の場 | スキー場の営業期間中については、必要に応じて交通整理員を配置するなど、出入口付近での車両の交錯を防止する。 | ○ | ○ | ○ | 写真3 |
| | 8 北パラダを利用する一般車両への配慮 | 触れ合い活動の場 | スキー場の営業期間中については、来場者が多くなる土・日曜日の工事関係車両の走行を避けるように努める。 | ○ | ○ | ○ | 写真1 参考資料1(非公開) |
| 建設機械稼働 | 1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型) | 大気質、騒音、振動、 動物、生態系、 触れ合い活動の場 | 建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の使用や低騒音型・低振動型工法の採用に努める。 | ○ | ○ | ○ | 写真4～7 参考資料1(非公開) |
| | 2 建設機械稼働時間の抑制 | 大気質 | 建設機械は、アイドリングストップを徹底する。 | ○ | ○ | ○ | 写真8 |
| | 3 建設機械稼働時間の分散 | 騒音、振動、 触れ合い活動の場 | 建設機械の稼働台数が集中しないよう工事の時期・時間の分散に努める。 | ○ | ○ | ○ | 写真8 参考資料1(非公開) |

※実施状況欄 ○：実施 -：実施不要のため未実施

| 建設機械の稼働 | 調査対象事項 | 関連項目 | 環境保全措置の内容 | 実施状況 | | | 添付書類 | |
|---------------|------------|-----------------|--|--|------------------|----|------|------------|
| | | | | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 土地造成、掘削、樹木の伐採 | 4 | 工事区域の仮囲い・遮音壁の設置 | 大気質、騒音 | 建設地周辺へ工事用仮囲いを設置する。 必要に応じて対象事業実施区域境界に遮音壁を設置する。 | ○ | ○ | ○ | 写真9 |
| | 5 | 工事区域への散水等 | 大気質、植物、生態系 | 建設中の構内道路への散水や欵板の敷設等を行う。 散水を実施することで、粉じんの発生を防止し、周辺に生育する植物への影響を低減する。 | ○ | ○ | ○ | 写真10 |
| | 1 | 安全な掘削方法の検討 | 地形・地質 | 掘削工法の検討に当たっては、土地の安定性に十分に配慮する。 | 造成・掘削工事時 実施済み | | | — |
| | 2 | 計画・設計時の配慮 | 地形・地質 | 施設計画において、安定計算の実施、マニュアル等に基づく適切な設計、浸食防止排水溝の設置等を行う。 | 計画時実施済み | | | — |
| | 3 | | 地形・地質 | 切土工事に際し、仮排水路への排水ができるようにし、沈砂池に集水して濁水の土砂を沈殿させてから放水する。 | 計画時実施済み | | | — |
| | 4 | | 触れ合い活動の場 | パラダの営業期間中の工事については、事業者と十分な協議を行い、スキー客への影響が極力小さくなるよう配慮する。 | ○ | ○ | ○ | 参考資料1(非公開) |
| | 5 | 広範囲の裸地化の抑制 | 水質 | 段階的な切盛り工事の実施などの工事計画の検討により一時的な広範囲の裸地化を抑制する。 | 計画時実施済み | | | — |
| | 6 | 工事区域外からの流入抑制 | 水質 | 工事区域の外周に仮設の雨水排水路を設置し、工事区域外からの雨水の流入を抑制し、濁水の発生量を低減する。 | ○ | ○ | ○ | 写真11 |
| | 7 | 造成工事の休止 | 水質 | 台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成工事を行わない。 | 造成工事時 実施済み | | | — |
| | 8 | 造成面等からの濁水発生対策 | 水質 | 台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成面、仮置き残土等へのシート、土嚢による養生等の対策を講じる。 | 造成・掘削工事時 実施済み | | | — |
| | 9 | 沈砂池等の設置、維持管理 | 水質 | 十分な貯留容量を有する沈砂池を設置し、雨水を一時的に貯留し濁水の土砂を沈殿させてから放流する。 | 造成・掘削工事時 実施済み | | | — |
| 10 | 雨水排水の濁りの監視 | 水質 | 降雨時には速やかに雨水排水の濁りの状況を目視により確認し、濁りが認められた場合には濁水を沈降させ、上澄みを放流する。 | 造成・掘削工事時 実施済み | | | — | |
| 11 | 雨水排水の水温の監視 | 水質、植物、動物、生態系 | 排水温度の変化に伴う動植物への影響の可能性の観点から、放流水の水温について監視する。 | — | — | ○ | 写真12 | |

※実施状況欄 ○：実施 一：実施不要のため未実施

| 調査対象事項 | 関連項目 | 環境保全措置の内容 | 実施状況 | | | 添付書類 | |
|---------------|-----------|------------------------------|---|---|----|------|--------------------|
| | | | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 土地造成、掘削、樹木の伐採 | 12 | 揚水量を低減する掘削工法等の検討 | 水象 | 揚水量を低減する効果的な掘削工法等を検討する。 | | | — |
| | 13 | 止水壁等の設置による水位低下の防止 | 水象 | 止水壁を透水性の低い層まで設置する等により地下水水位低下の防止を図る。 | | | — |
| | 14 | コナラ林の改変の回避 | 生態系 | 対象事業実施区域南側のコナラ林の改変を回避する。 | | | — |
| | 15 | 対象事業実施区域境界の林縁保護 | 植物、動物、生態系 | ○ | ○ | ○ | 写真13 参考資料1(非公開) |
| | 16 | 対象事業実施区域周辺で営巣が確認された場合の工期変更等 | 動物、生態系 | — | — | — | — |
| | 17 | 工事関係者への啓発(動植物等) | 植物、動物、生態系 | ○ | ○ | ○ | 写真14 参考資料1(非公開) |
| | 1 | 中和処理 | 水質 | — | — | ○ | 写真15 |
| 舗装工事・コンクリート工事 | 2 | 水素イオン濃度の監視 | 水質 | — | — | ○ | 写真16 |
| | 1 | 建設発生土の再利用 | 廃棄物等 | 掘削土砂については本事業の敷地内や他事業での再利用に努め、残土の発生を抑制する。 | | | — |
| | 2 | 公共事業等での有効利用 | 廃棄物等 | 場外搬出する残土については、他の公共事業での有効活用を図り、処分量の低減を図る(受け入れ先は組合で決定)。 | | | — |
| | 3 | アスファルト・コンクリート塊、木くず、伐採木等の再生利用 | 廃棄物等 | — | — | — | — |
| | 4 | 現場での分別排出 | 廃棄物等 | ○ | ○ | ○ | 写真17 |
| 5 | 適正な管理(土壌) | 廃棄物等 | 自然由来により残土が汚染されている場合もあることから、処分方法に応じた適切な搬出の管理を行う。 | | | — | |

※実施状況欄 ○:実施 ー:実施不要のため未実施

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">写真1</p> <p>工事関係車両の走行 No.1 走行時間の分散 No.2 交通規制等の遵守 No.3 アイドリングストップ・エコドライブの励行 No.8 北パラダを利用する 一般車両への配慮</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/1/7</p> |
|  | <p style="text-align: center;">写真2</p> <p>工事関係車両の走行 No.5 工事用車両出入り口の 路面洗浄等(鉄板の敷設)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/1/27</p> |
|  | <p style="text-align: center;">写真3</p> <p>工事関係車両の走行 No.7 交通整理員の配置</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/1/27</p> |

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">写真4</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、 低振動型)</p> <p>クローラークレーン 55t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/1/27</p> |
|  | <p style="text-align: center;">写真5</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、 低振動型)</p> <p>クローラークレーン 120t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/1/27</p> |
|  | <p style="text-align: center;">写真6</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型)</p> <p>バックホー 0.45m³</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/1/27</p> |

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">写真7</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型)</p> <p>ラフタークレーン 25t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/1/27</p> |
|  | <p style="text-align: center;">写真8</p> <p>建設機械の稼働 No.2 建設機械稼働時間の抑制 No.3 建設機械の時間の分散</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/2/17</p> |
|  | <p style="text-align: center;">写真9</p> <p>建設機械の稼働 No.4 工事区域の仮囲い ・遮音壁の設置</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/1/17</p> |



写真10

建設機械の稼働
No.5
工事区域への散水等

撮影日 2020/1/27



写真11

土地造成、掘削、樹木の伐採
No.6
工事区域外からの流入抑制

撮影日 2020/1/29



写真12

土地造成、掘削、樹木の伐採
No.11
雨水排水の水温の監視
15°C

撮影日 2020/3/18

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">写真13</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.15 対象事業実施区域境界 の林縁保護</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/1/29</p> |
|  | <p style="text-align: center;">写真14</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.17 工事関係者への啓発 (動植物等)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/3/9</p> |
|  | <p style="text-align: center;">写真15</p> <p>舗装工事・コンクリート工事 No.1 中和処理</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/3/18</p> |



写真16

舗装工事・コンクリート工事
No.2
水素イオン濃度の監視
PH6(環境基準8.5以内)

撮影日 2020/3/18



写真17

発生土、建設廃棄物、伐採木
No.4
現場での分別排出

撮影日 2020/1/27